

令和6年度総長賞受賞者一覧

被推薦者・団体名	推薦 対象 分野	推薦理由・受賞歴等
情報学研究科情報学専攻 修士1回生 キタイケ ヒロアキ 北池 弘明	学業	半導体分野世界最高峰の国際会議 (IEEE Symposium on VLSI Technology and Circuits)において、西日本の大学から唯一、かつ最年少で採択。IEEE国際会議において9件の研究成果を発表、LSIとシステムのワークショップ最優秀ポスター賞 (学生部門)を受賞。
生命科学研究科統合生命科学専攻 博士3回生 タチバナ リョウ 立花 諒	学業	「葉緑体が過剰に発達すると、逆に光合成活性が低下する」という、これまでの植物研究の常識を覆す重要な発見。「Nature Communications」誌に採択。国内学会で27件、国際学会で10件の学会発表を行い、計五つの優秀発表賞を受賞。
情報学研究科情報学専攻 博士1回生 ナカイ タイシ 中井 大志	学業	多くの人が信じているものの、経験則にすぎなかったブロックチェーントリレンマを世界で初めて数理的に示した。国際学会及び国際誌で採択され、CSS最優秀論文賞、SCIS論文賞、インターネットアーキテクチャ優秀研究賞、ICTイノベーション優秀研究賞、優秀修士論文賞を受賞。JST BOOST、JST ACT-X、学術振興会DC2に採択。
教育学部 学部3回生 イシバシ マオ 石橋 真央	課外	第67回短歌研究新人賞で次席を受賞、第7回笹井宏之賞で最終候補を通過、第36回歌壇賞で大賞を受賞。歌壇の四大新人賞のうち三つで成果を上げた。
文学部 学部4回生 スズキ エリカ 鈴木 衿佳	課外	第39回全日本学生居合道大会の個人戦の部において優勝。本学で女子選手が優勝するのは初。並外れた努力家であり、この4年間ほぼ毎日稽古を欠かさず、その頻度は年間360日以上に及ぶ。3回生時には主将として居合道部を率い、昨年度に開催された第38回全日大会に出場して団体戦で準優勝。
理学部 学部4回生 ツツイ リョウスケ 筒井 涼輔	課外	外務省主催の第39回国際問題プレゼンテーション・コンテストにて「日・ASEAN賞」という特別賞を受賞し、その功績が認められ、本学学生として初となる外務大臣表敬訪問を行った。39回目にして初めて日本国籍でないもの(ASEAN諸国の国籍を有する者)の参加が認められ、国籍が異なる者からなる混成チームも認められた。
工学研究科材料工学専攻 修士1回生 宇宙木材研究学生チーム(代表) ホソツジ イチ 細辻 一	課外	京都大学が開発した最初の人工衛星で、かつ、世界初の「木造」人工衛星であるLignoSat(リグノサット)の開発、製造に主体的に取り組み、人工衛星として運用されるまでの一連の過程を実現に導いた。今後の衛星の管制業務も担う。

学業3件

課外活動4件

合計7件